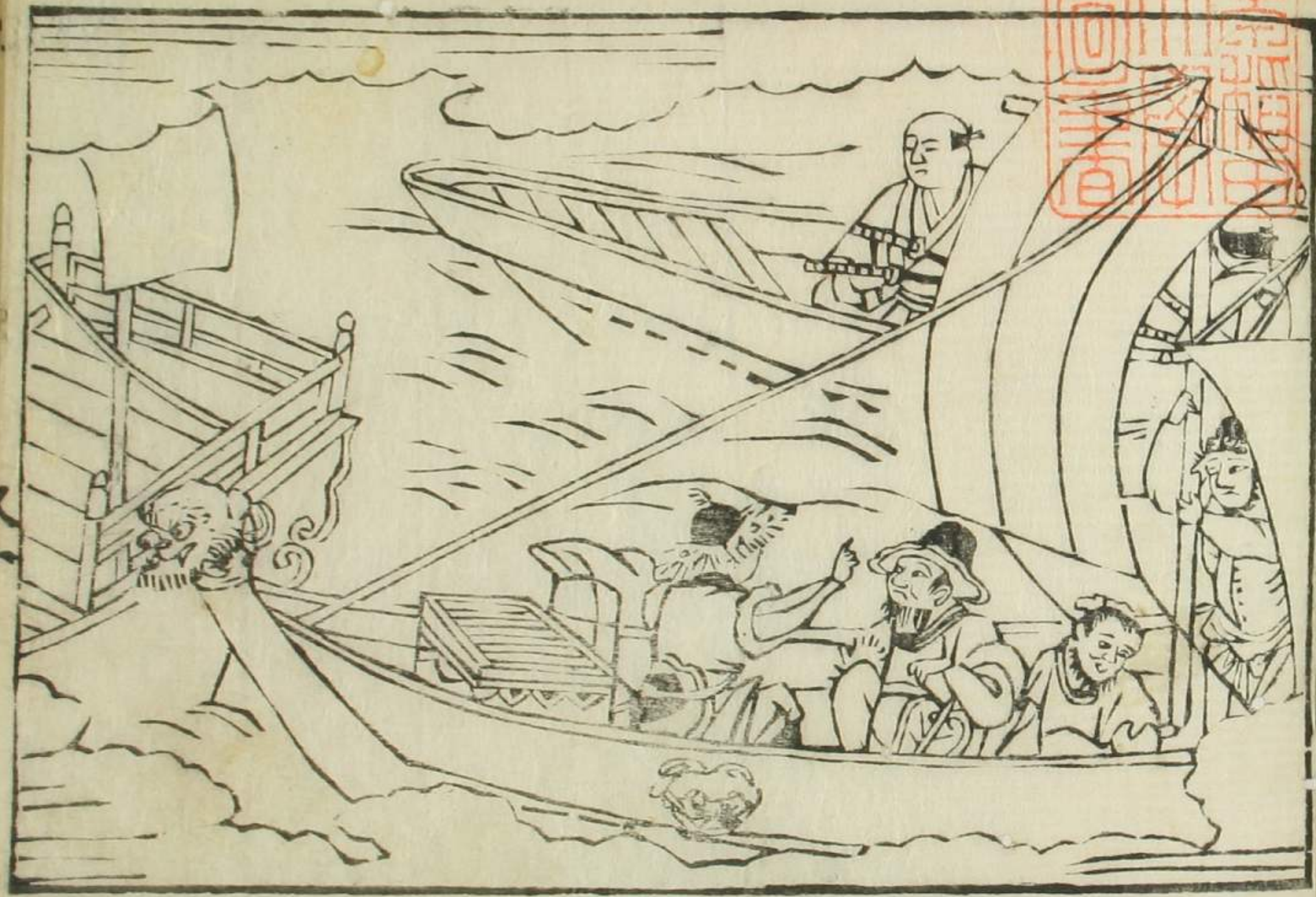


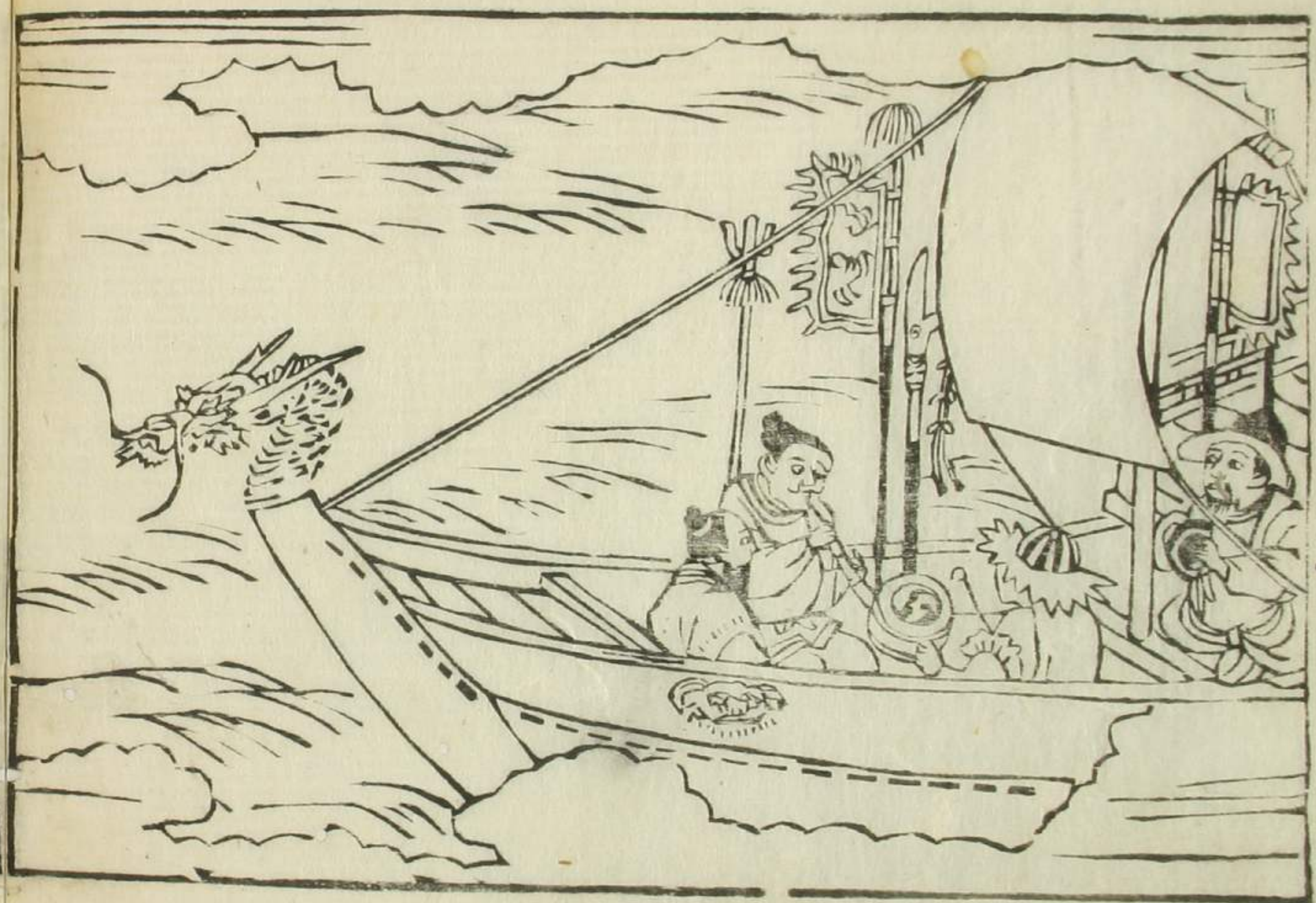
朝鮮人來船義式
 同御登城之次第 并
 九名付

リ 5
 1679





門海
號 1675
卷



船解人

一

一

通俗
繪入 朝鮮諸言古事

朝鮮あづかんあど

一 夫を初とたなふ始ふ夫物を記せん
 監せんと申すはよと申すは〇流せんと申す
 始せんひて別と申すはみだると申すは
 つらひ始ふをれちと申す人氏
 毎朝一ごよよと申すはつらひ
 くを何と申すはその礼監せんと申す
 〇と申すはつらひと申すは
 〇と申すは

と申すはつらひと申すはつらひと申すは
 〇と申すはつらひと申すはつらひと申すは
 毎朝夕をのふ始せんつらひと申すは
 夫きつらひと申すはつらひと申すは
 計よと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 わつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 よと申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 の始と申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 物夕をいと申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 〇と申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 〇と申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 〇と申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは
 〇と申すはつらひと申すはつらひと申すはつらひと申すは

とあせつてこれくふみち月
すこいそ女の耳かきをほぐ
金の佛子のつわらびのなま
どごあの手よまげふせり
女よいふやうよお仕

一様女をすくめくふみち月
これが父のほこせ給お種女の
いふり父のまどよりあふの
かふは徳女よもか合ふ
そのあまたくふみち月
よ速くくふみち月も父の
およその子をあ仕りよ

世のさつじつたる事わらひ
いふこのくふみち月
あふみち月

一父お死し給ひて三年たあ
たどくをさるる事
あつて三年のうらみ
いせび三年のうらみ
生のくふみち月
家よあつて

一父母兄弟あみおふえん
たりこの唐人の種をよ
りなごうけりいふ

はらうく。あしやう。かみあし
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。

あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう

あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう
あしやう。あしやう。あしやう

皇極の沙塵中より其目印を
 懐く作るとして其心行寧く
 以て是を以て作付ぬ難きを
 存し胡蝶の舞を以て其心
 作付ぬ難きを以て其心
 其心作付ぬ難きを以て其心
 其心作付ぬ難きを以て其心

ナ

御公儀分在 作付ぬ難きを
 中其心作付ぬ難きを以て其心
 作付ぬ難きを以て其心
 作付ぬ難きを以て其心
 作付ぬ難きを以て其心
 作付ぬ難きを以て其心

大坂御遊

コベミノグレユニム
 皇教義法守候

細田作付ぬ難きを
 以て其心

同所賄御役

クシザンデグエウイモシニム
 近山清古馬の候

系於御地乞

ホシタヲクワイニユ云
本多隠岐守様

同御贈御役

ベルヤヲガウイムニム
建孫又丸造様
古川武彦様

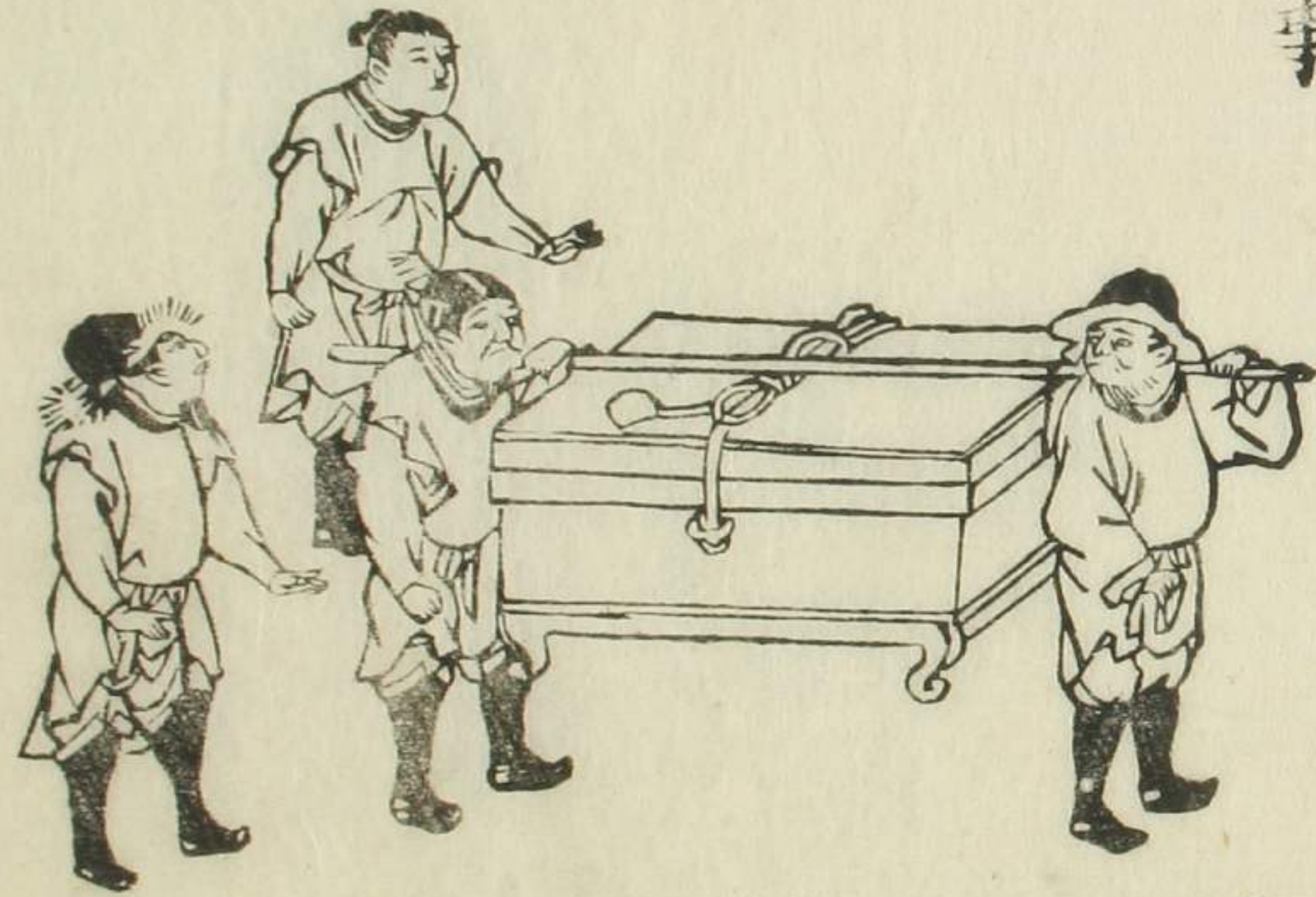
曲馬繋り以て身

一馬場の道法リ丸造様丁様
とるを上官とる人のかの
衣おれとんすそんらんのか
いとらるものハ三らんらんのか
ほんらんらんらんらん
一或様丁様のぞくと馬のいぶ
事たごをあくのこやけい

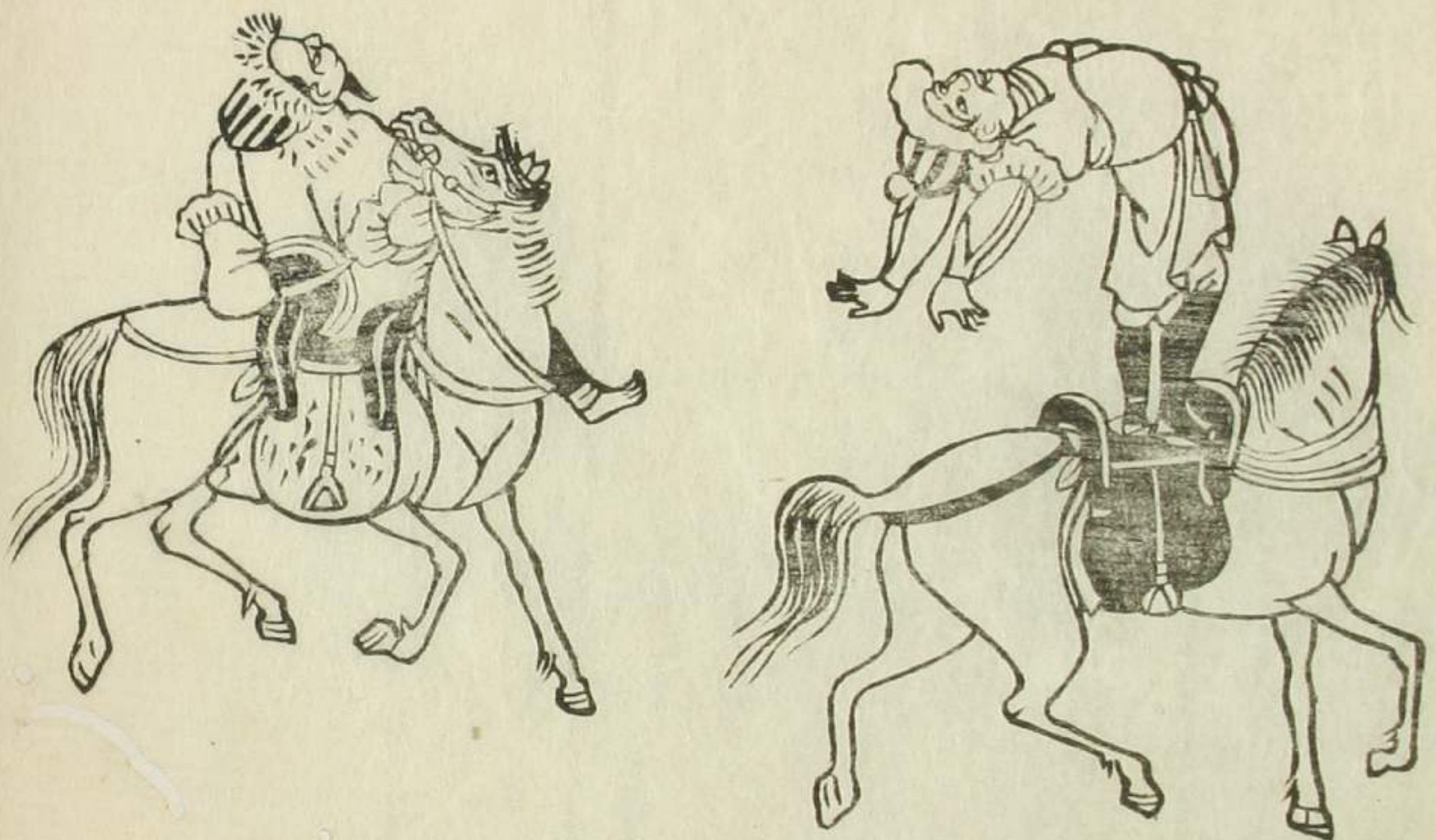
正使

副使

従事







ゆくのり御うねくたふ記
 一ならふゆえんそて馬のよぶら
 ともよま^チ或三下くけ新あ
 うらふつ病くのらまくとます
 一さかりゆだともし何せ勢あう
 へよあけくらす地ようけさむ
 一ゆく

一まそ^チ或^チより^チむ^チら^チま^チん^チ
 一はみ^チ丁^チくる^チも^チち^チま^チら^チく^チ一馬の
 一う^チへ^チま^チこ^チふ^チ終^チど^チた^チ一ゆ^チく^チも
 一ま^チま^チま^チの^チら^チま^チら^チ
 一ま^チそ^チ又^チ同^チ一馬^チを^チ或^チや^チあ^チへ^チ

ゆてまへ人よそののまのめまきの
るのしちくしをあげてまきの馬
よたのりしとあげて下馬のり
それより馬のくまびりよの
ちひらひとあつてつてつてつて
あつてつてつてつてつてつて

朝鮮詞

サラムトハ 人し事 ヲルガ ぶき
ヌシ 目 ヲイ ちか イ ち
イビ 口 セ 舌 イ グ 丸 口 び
クイ 耳 タイ クリ つひり
モリ クミ

右顔く歌

オスよ ちる 柳 ヲ ステ ね び
バビ め ー ク、 汁 ノ 事
ハレ サレ ち へ クルス コ ン
デ ち ー スル 海 上 工 事
ステキ 條

右の食物く歌

アトルトハ 男 ち ち ス 奇 よ ぬ
アバミ 父 ヲ ヲ ヲ ヲ 母
アガヒ ち ち ド ブ ち ち
モロトブ ち ち ケ チ ビ ち ち
オ ー ー サ ラ ム 知 人

ソレもガリ足アニ
三十一

石へん歌

ハシド 暇持す 千ヨウチヨガ
モリ 馬シヨ牛カイ大
トリ みいり カニクイ
ヒツラキららサイ
ボク

右ハちよあらく歌

クム^ト金くす
イシム人琴タイラ
ナツヒタ
ガギウ

ハヤチの ちや ツウサ
右ハちよあらく

集取

集取

ハイハ 船くす コキ
グスイ^ト大ん カチ
ソツ び ハリ
クルヒ 文字
グリ 水
タレハコタイ
ナム 藪 イラ
スルモクリ
ハビモクリ

スイカク ちやくちやく

タセヲク 又山 入ルモツコ

チハハタ 酒もた

ズバサチヤ 孫よ

カイチヤ ちやくちやく サネを

ナイ ちやくちやく ツッコヤク

クリハサイ ちやくちやく

カクセイトハ ちやくちやく

ヤグヂウトハ ちやくちやく

コブタ ちやくちやく

チヨツタ ちやくちやく

クルタ ちやくちやく

クリブタ ちやくちやく

タ ちやくちやく

ヘンニリハタ ちやくちやく

バドレ ちやくちやく

キ ちやくちやく

セラル ちやくちやく

カチヤ ちやくちやく

ナイル ちやくちやく

モロゼ ちやくちやく

エツガイ ちやくちやく

イルブニ ちやくちやく

△ンニ ちやくちやく

△ンニ ちやくちやく

ミシグタ ムイキ
 ウスバ
 タカウーハムセブタカウーハ
 バカブタ 崎ーハ ブルヤ
 クタ きのどく フルフ ちん
 右所を再ハ年スーく中
 一高懸のものをかりは後
 信使某聘甘今ふよち
 日えり世の切くさあとか
 らん

正徳元年

幸 卯

三使官職姓名

正使 曹參議

趙泰億

副使 弘文館典翰

任守幹

從事 弘文館校理

李邦彦

負役

上々官同知

李碩麟

僉知

李松年

僉知

金始南

製造官前佐郎

李磻

上判事 前判官

洪爵明

前判官

鄭昌周

副司勇

玄徳潤

次上判事トシヤクシヤク前主簿シヤクシヤク

前シヤクシヤク僉正シヤクシヤク

押物判事シヤクシヤク前シヤクシヤク僉正シヤクシヤク

前シヤクシヤク直長シヤクシヤク

前シヤクシヤク奉事シヤクシヤク

前シヤクシヤク直長シヤクシヤク

良醫シヤクシヤク前直長シヤクシヤク

醫負シヤクシヤク前主簿シヤクシヤク

副司勇シヤクシヤク

馮字官シヤクシヤク上護軍シヤクシヤク

上護軍シヤクシヤク

正使軍官シヤクシヤク僉知シヤクシヤク

僉知シヤクシヤク

前郡守シヤクシヤク

經歷シヤクシヤク

僉正シヤクシヤク

主簿シヤクシヤク

哨官シヤクシヤク

前參奉シヤクシヤク

書記判官シヤクシヤク

副使軍官シヤクシヤク前監察シヤクシヤク

宣傳官シヤクシヤク

都事シヤクシヤク

宮傳官シヤクシヤク

護軍シヤクシヤク

金是探シヤクシヤク

崔漢鎮シヤクシヤク

金顯門シヤクシヤク

朴泰信シヤクシヤク

金時璞シヤクシヤク

趙得賢シヤクシヤク

奇斗文シヤクシヤク

玄萬奎シヤクシヤク

李渭シヤクシヤク

李壽長シヤクシヤク

李爾芳シヤクシヤク

李詔シヤクシヤク

金鎰英シヤクシヤク

李行儉シヤクシヤク

趙健シヤクシヤク

韓範錫シヤクシヤク

柳濂シヤクシヤク

金世珍シヤクシヤク

韓潤基シヤクシヤク

洪舜行シヤクシヤク

閔濟章シヤクシヤク

鄭壽松シヤクシヤク

趙儼シヤクシヤク

鄭續述シヤクシヤク

申震燿シヤクシヤク

前別將

副司猛

書記前縣監
從事官軍官

馬上才

典樂

際

劉廷佐

張文翰

由道升

嚴漢重

副司勇

南聖聖

金半

嚴謹

池起澤

李中興

安英敏

金碩謙

金世環

料理缺立

對子定
大坂 江戸 同

七五三

十人

内三人お

み三

廿五人

内四人お

右に缺立多し者くしと
廣大より申されとあるさ

法正寺大倉極方此就迄ノ此牙

松浦寺の極方此就迄ノ此牙

松平右衛門極方此就迄ノ此牙

松平氏ノ大補極方此就迄ノ此牙

松平安藤極方此就迄ノ此牙

何甲對する楳 さしひんうしき

松平伊与右楳 うしほとま情をわめ

榊原式ヲ左捕楳 ひらば左捕楳

松平左近右楳 ひらご右近右ノ川に

大坂中へ入ノ儀式とてとる人

後儀をげんあさしくお難儀楳

清舟つとる及弟者人共人の事

けんそつ増節南ひんを所無事

節宿宿中形を所就乞

所役思す及度右楳

清代友 松籠小三郎 基不題

大坂右方の逗留に大坂右近川舟

一くまぐ丸 あんぎ丸

一土佐丸

一紀伊国丸

一中土佐丸

一とくひ丸

回くす所就乞ノ所舟

一麦 松平隠岐右楳

二麦 日 遠海右楳

三麦 日 式ヲ左捕楳

四麦 日 土佐右楳

五麦 榊原伊与右楳

六麦 松平安藤右楳

七支 伊達伊成権

八支 松平直友権

九支 小笠原太右権

十支 阿部儀中右権

平久し休清純之役 喜山下時権

信州清純之役 松平丹波権

京宿防本玉子 本多信俊権

京宿防本玉子 古川武重外 過海之役

京五右衛門之役 松平直友所より

三交金うらまげん丹人

今十二次休清純之役 清久権

久保味 養慶の権

清久権

りり山油 松平和泉権

清久権

八まん休 市橋下経権

さし山油 井伊掃平権

今休休 水月人権

大がき油 戸田宗女権

新休 尾張権

名古屋油 水月人権

あつみ休 水月人権

岩崎油 水月人権

赤坂休 牧野之守権

吉田泊り 四月人板

新市舟体 土井山城舟板

淡松泊り 松平舟板舟板

足舟体 四月人板

掛川泊り 小笠原山城舟板

加多舟体 四月人板

菱枝泊り 内友船体舟板

舟中体 舟板下船舟板

大田三人舟体 大田鞠負板

舟代友

江尻体 鴉崎元舟板

吉原体 牧野淡舟板

三崎泊り 根板後舟板

箱根体 大久保加舟板

小田系舟 大久保加舟板

大い舟体 松平丸舟板

戸塚泊り 松平舟板

川崎泊り 松平舟板

不川泊り 加友舟板

江戸舟宿泊り 舟板

舟就走舟役人 沼井舟板

火ノ舟舟 舟板

登城烈

入國入

信使方御役人

平田隼人

大浦忠右

樋口久米右

吉田重右

幾入重右

徳雄重右

吉田云右

三浦久右

加城持重

平田幸右

小田平右

新田重右

田代伏右

猪井信右

平田九平

加治野右

西原重右

四分重右

木下重右

津田重右

吉野原右

木村重右

吉野重右

二

入國入

二

入國入

徳川十八

徳川十八

集人
貝江新八

徳川十八

大浦隆吉

徳川十八

横倉式部

徳川十八

白木義之

永為四郎

井上里次

白井格次

成田長重

那村清吉

登城列







入川 舟山 六



敷原八

名田廿八

小田廿七

中村廿六

永田廿五

津本廿四

吉野廿三

高野廿二

大原廿一

山内二十

会掛十九

興有

後所

高野

新井家系

正使
副使
從使

三十三人

吉田伴四郎

長島源平

石田軍左衛門

佐佐木左衛門

大石重光

会掛式三郎

大浦道吉

細崎吉三郎

大坂義俊

一橋守

金井宗俊

門田武吉

加勢牧方

長岡助左衛門

志保松平

大東源兵衛

佐佐木三平

下目守六郎

小田文吉

代官

海上の舟方

くらの役

いづらの役

かづらの役

三十三人

頭
腕工
亞班

財源

徳の始めたる月役

総取

船中徳のりき入

棧板工

くし舟後

工社

水とつみ

香工

わらわ香花灯の役

船主

せんごうこ

船解分日本、常しく去春のよあ

人參 菜種つらく 色うん

わづ ともうん りうたん

油布 油紙 毛氈 扇

川尻走のり御了徳法の御志を

以方方徳とせり行り了一疋七疋

口くろりあさる救ふ是ノ條

細川御中書係 才二疋

松平丹波書係 十疋疋

月古佐書係 八疋

有るる云書係 九疋

小笠原内匠次係 六疋

松平左衛門書係 七疋

月屋波書係 六疋

五七花丸書係 四疋

信達信誠係 四疋

加賀守相係 四十一疋

松平徳政書係 十一疋

十八

日

兼次六世孫

孫地長原大守三人

孫地長原

七世孫一人

孫國七人

孫代七人

孫國七人
孫雄海門

松尾末工

古川録方
古直子

原室方方

戸田仙妙
古子

雄平七
古直子

孫勝原方

三國原玄
伊納下は孫孫

七五三才方方

孫勝方
古直子

三國忠方方

孫心方方
下段は孫二人

孫依乃方方

吉川方方

大浦方方

仁位三方方

大浦方方
古直子

山本方方
古直子

三浦方方
古直子

幾方方
古直子

平田方方
古直子

三浦方方
古直子

内野方方
古直子

小川加方方
古直子

孫兼綱五孫

孫兼綱五孫

孫代八人

孫代八人

家園主人

吉田七右衛門
 古川右衛門
 吉村為右衛門
 平田隆元
 榎口右衛門
 米田繁元
 志加久右衛門
 尾崎如左衛門
 日下
 尾本孫右衛門

看林主人

与次郎主人
 与次郎
 前家三
 世孫
 世孫

看代主人

龜川勘右衛門
 平山左衛門
 早川國右衛門
 小川隆平
 上又右衛門
 尾崎隆元
 大浦式部
 安富左衛門
 大浦安右衛門
 儀同左衛門
 去龜行左衛門
 西村西左衛門

看代主人

家園主人
 看代主人

卷三

馬附合符武考

卷三

卷三

舟橋又三

江崎右三

島田新三

大浦伴三

本間九三

志田三平

尾崎三平

山田三平

小田三平

田崎三平

信田三平

服田三平

有脚附合符武考

有脚附合符武考

卷三

卷三

舟橋又三

江崎右三

島田新三

大浦伴三

本間九三

志田三平

尾崎三平

山田三平

小田三平

田崎三平

信田三平

服田三平

東條殿 念符三行

念符三人

念符二人

西心脚去
若水地志
去井与美
念符念符
念符念符
念符念符
念符念符
念符念符
念符念符
念符念符

日

東條殿 念符三行

念符三人 念符二人 念符一人

横糸宅
修村
小川
安部
西依
重松
縮
原
依伯
梅
横田
浦田

聚園主人

野野

有代八

有代二人 乃有野野

野野

淨史長 二十日
高山文四郎

畑崎持左

伊本原良

加藤七郎

山田了右八

江崎孫三

西條中兵衛

吉田保八

土田了平

清原信房

本原信房

土浦信房

車去り

伊手丹左

振子与左

藤本信左

井野文左

大谷平九

中尾左三

内山奥三

箕原信左

松本了右

内野正介

小田仲左

浅野九七

有代二人

有代二人

有代二人 花巻中柳館

花巻中柳館

有代二人

番十二号

岩崎田美

佐木性 崎中辰吉

方信吉

藤合七

南本小吉

林吉三

四合庄

川邊平七

岩井格吉

里中姓 浅公要人

小川伴吉

白徳鑑三

算代八

徳政三

算代八

医師 西山子代吉

井宅秀吉

外科 打色元彌

飯田月録

善治 橋倉元東

文川 辰二

自來水 深川 吉吉

心療科 山下 仁吉

小崎新吉

山本 吉吉

大浦 吉吉

付 吉吉

算代八

黒大 算代八

算代八

算代八

天目湖述序

具是概二物

卷八

卷四一人

序例後
古詩甚多

去本陽也

去庫近乃

三井田全

信伯久和

之好柳好

武回利去

西心三益

柳子

平心之去

閑歌

寸歌

校歌推

立立 甚盛

卷八

卷八

卷八

竹歌

古竹

古歌

古歌人

二詩通

并久之

回子歌

新録

有名人

有名人

床机

世目一校

世目一校

下向及中三九御鞍
皆見

松友由

市下

京井

松浦

吉本

堀田

織田

龜井

足田

奥平

増心

一折因情

九鬼

丹后

久友

毛利

松平

日九

沼井

細川

碓氷

木下

分ア

松平

世目一校

世目一校

世目一校

世目一校

世目一校

世目一校

世目一校

三十一

月日月

上

大例
小例

おた
おた

おた
おた

おた
おた

おた
おた

柳上伎あき

松平集千人

日河内

大村花

赤野

松平

毛利

赤松

伊東

池田

中川

細川

大崎

小笠原

立花

園

瑞穂

松平

堀田

上白

小出

土方

小出

伊東

城田

日

兼平

兼平

日

日

兼平
兼平
兼平

加藤 勘十郎 大工 十人
 長持 十人
 共計 二十人

- 板倉御中 十人
- 妻和口水 十人
- 伊东懐古 十人
- 湯崎和口水 十人
- 友老 飯 十人
- 高橋甲斐 十人
- 月 三 飯 十人
- 織田丹守 十人
- 本田紀長 十人
- 松平宗女 十人
- 植村吉長 十人
- 小笠原信忠 十人
- 後那云 十人

金目 十人
 日
 銀目 十人
 用 十人
 共計 二十人

- 一七力石 十二疋
- 一自久平大楯 十三疋
- 一小舟信忠 十人
- 一火番役 十人
- 一三使江下 十人
- 一御中 十人
- 一巾 十人
- 一番方 十人
- 一三使 十人
- 一板平 十人

大田武人
大田武人

松平徳右衛門
松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平出雲守

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

松平徳右衛門

可一

本田山城守外 井上義隆守外

河内掾守外 沼田書藏守外

大田東光守外 同 松平或守外

谷代清守外 海江伯守外

松平中務守外 同 三田宗一外 子孫或守外

秋内信隆守外 米澤出守外

吉田俊中守外 河井信隆守外

寺山相次守外 内友隆守外

板倉伴守外 山口信宣守外

南中守外 新庄清河守外

堀丹後守外 全盛守外

有言大守外 松平朝守外

信使三人 上之官二人 上官四

十人 中官百廿九人 下官百廿

会老 貳人

学出 老人

通調 卒貳人

列事 三人

次友 七人

私主 工社 九十五人

人教合二百三十人

渡京分荒井三人馬刺

前坂守之入馬刺

竹村守外
松平或守外
平田守外

松平或守外
平田守外

松平或守外
平田守外

西陲文印九月上旬

東寺田通杏原上研

葉石心房長湯板

